

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		台東区高齢者住宅生活援助員					所管	都市づくり部 住宅課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	202	計画事業名	高齢者等の居住の安定確保			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現 [施策] 43 多様なニーズに対応した良好な住環境の整備					[事業開始] 平成25年度 [終了予定] - 年度			
	根拠法令等	条例・規則	〔法令等名〕		台東区高齢者住宅条例・同施行規則、台東区高齢者住宅生活援助員設置要綱					
	事業対象	直接の対象 : 高齢者住宅及び高齢者住宅入居者 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	高齢者住宅に生活相談員(ワーデン)に代わり、生活援助員(LSA)を配置し、入居者に対する生活指導や相談、安否確認等の業務を行い、高齢者の生活のサービスの充実を図る。								
	事業内容 [H30年度]	社会福祉士や介護福祉士等の資格を有する生活援助員が、高齢者住宅入居者に対して生活指導・相談、安否確認、緊急時の対応、疾病等に対する一時的な介護、関係機関との連絡、日常生活上の援助を行う。平成25年9月にシルバーピア東京に導入後、金竜をワーデンから切替え、かつば橋、西浅草、したや、浅草も切替えを行っている。								
	委託の有無	全部委託	委託内容		高齢者住宅生活援助員業務委託(委託先: 社会福祉事業団)					
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度			
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率	
	活動指標	導入高齢者住宅棟数	棟	6	4	4	6	4	150.0%	
	成果指標									
	決算額 (単位: 千円)				H28年度	H29年度	H30年度			
	事務事業コスト (単位: 千円)	人にかかるコスト (人件費など)				3,567	3,352	5,290		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				5,430	5,430	8,618		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				0	0	0		
		総経費				8,997	8,782	13,908		
	財源項目 (単位: 千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)				0	0	0		
その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0				
一般財源 (区負担額)				8,997	8,782	13,908				
課題及び今後の進め方	受託可能な法人が少ないため、区内の地域包括支援センターを運営する社会福祉法人ほか、福祉資源等との連携の検討が必要と考える。 ワーデンとLSAとの役割を明確にし、段階的に移行する方法を検討する。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	通常の住宅管理業務以外に、入居後の心身の状況変化を早期に発見し、住宅課をはじめ、関係機関との連携を図るため、専門的な知識を持ったLSAの配置が必要である。							
	効率性	3	専門的に対応可能な地域包括支援センターの運営法人に委託することが効率的である。また、現在LSAはすべて社会福祉事業団が受託しており、そのスケールメリットから福祉人材を有効活用している。							
	手段の適切性	4	30年度末までに導入済みの6棟はすべて、社会福祉事業団が受託しており、入居者対応、福祉部門、介護サービスへの連携が適切に行われている。							
目的達成度	4	通常の管理業務に加え、専門的な生活指導や福祉サービスの提案、見守りなどをおこない、早い段階で入居者に必要な支援を提供できている。								
〔総合評価〕 ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
入居者の高齢化に伴い、建物の管理業務だけでは対応が難しくなっており、医療、福祉、介護等の専門的な知識や資格を有するLSAの配置は重要である。引き続き、他の高齢者住宅においてもLSAへの転換について検討していく。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		